

第5章 本村遺跡第119地点の本調査

I 遺跡の立地と環境

本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15～20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

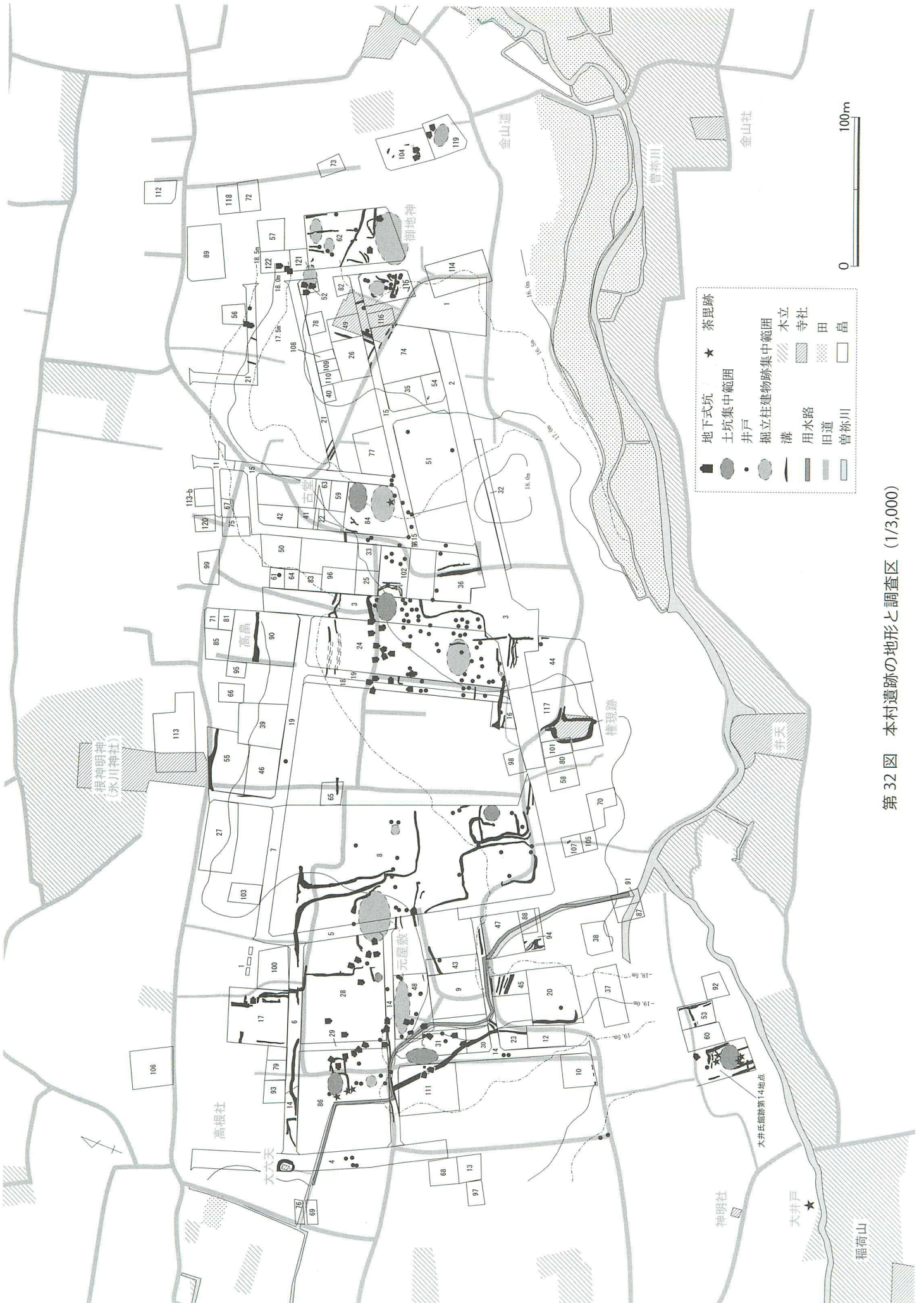
砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。市内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることができる。いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2010年3月現在122地点で調査を行い、旧石器時代の礫群・石器集中、縄文時代の落とし穴・炉穴、中世～近世の掘建柱建物・方形竪穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式坑・茶毘跡等を多数検出している。



第31図 本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)



第32図 本村遺跡の地形と調査区 (1/3,000)

II 本調査に至る経過と調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2008年3月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南東端に立地し、隣接地では集石や地下式坑、溝等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

2008年5月27日から同年6月4日まで行なった試掘調査の結果、多数の遺構を検出したので、再協議したが、開発の変更ができないため、原因者負担による本調査を実施することになった。市教育委員会は原因者と発掘調査に係わる委託契約を締結した上で、2008年6月4日から同年6月25日まで本調査を行なった。

調査は遺構を確認した範囲の表土を重機により除去し、人力による表面精査で遺構範囲を確認した。遺構調査は人力で覆土を除去しつつ出土遺物を残し、遺物出土状況図・土層図・遺構平面図・調査区域図等を平板測量で実測、写真撮影を行ない、調査を終了した。検出した遺構は中世以降の地下式坑2基、土坑15基、ピット60基である。

調査区内は土地を嵩上げするために、表土を掘削した上でローム土の盛土をし、再び表土を戻している。その上に駐車場として造成するため碎石を10～20cm厚で敷き詰めてあった。

このため本来の遺構確認面が削平されており、調査区東側で現地表面より90cm下、西側では160cm下

まで削平されていた。

III 遺構と遺物

(1) 地下式坑

① 1号地下式坑

調査区北東隅に位置し、竪坑を西側、室部を東側にもつ。

竪坑の平面は方形で、ほぼ垂直の壁である。竪坑から室部へは11cmの段差がある。室部の平面形はL字形で、壁は垂直に立ち上がるが、床面から75cmの高さでカーブし、オーバーハングする。覆土中にはロームブロックが厚く堆積する。オーバーハングする壁とロームブロックの堆積から天井が崩落した跡と考えられる。

土坑2・15と重複し、両遺構より古い。

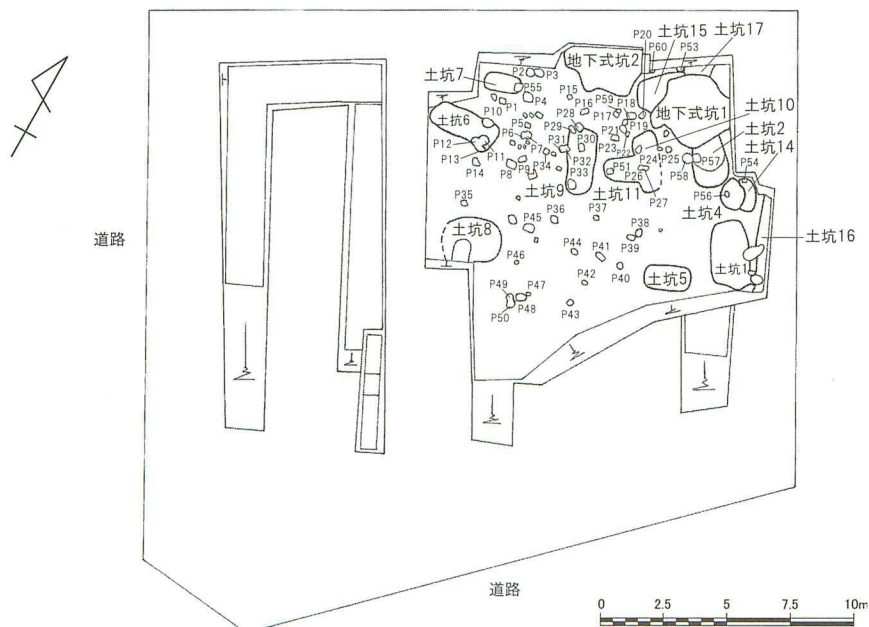
出土遺物は縄文土器片が出土している。

② 2号地下式坑

調査区北東部に位置し、竪坑を西側、室部を東側にもつ。

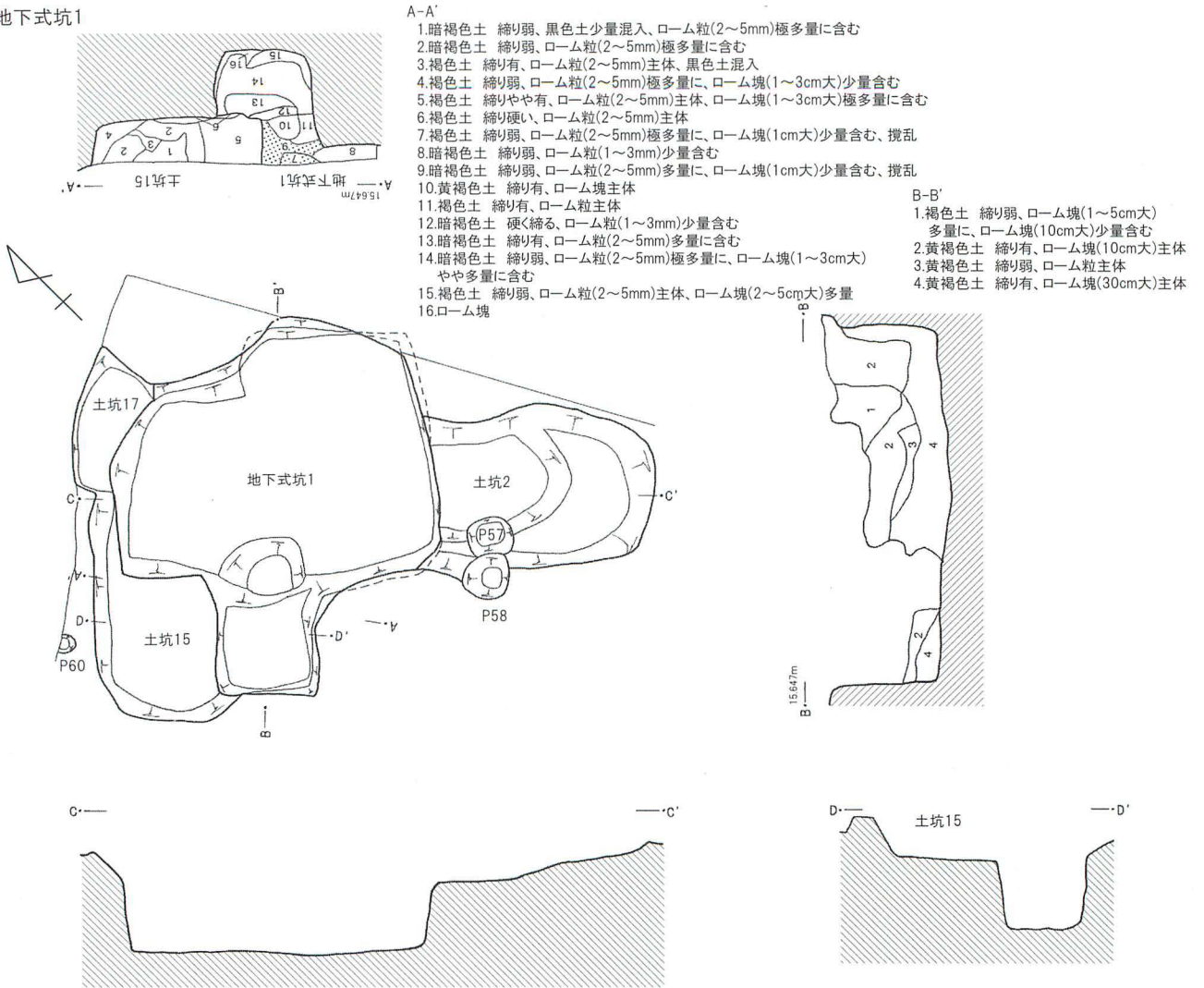
竪坑の平面は半円形で、ほぼ垂直の壁である。底面は傾斜する。竪坑から室部へは28cmの段差がある。室部の平面形は隅丸方形で、壁は垂直に立ち上がるが、床面から78cmの高さでカーブし、オーバーハングする。覆土中にはロームブロックが堆積する。オーバーハングする壁とロームブロックの堆積から天井が崩落した跡と考えられる。

出土遺物は茶臼と縄文土器片が出土している。

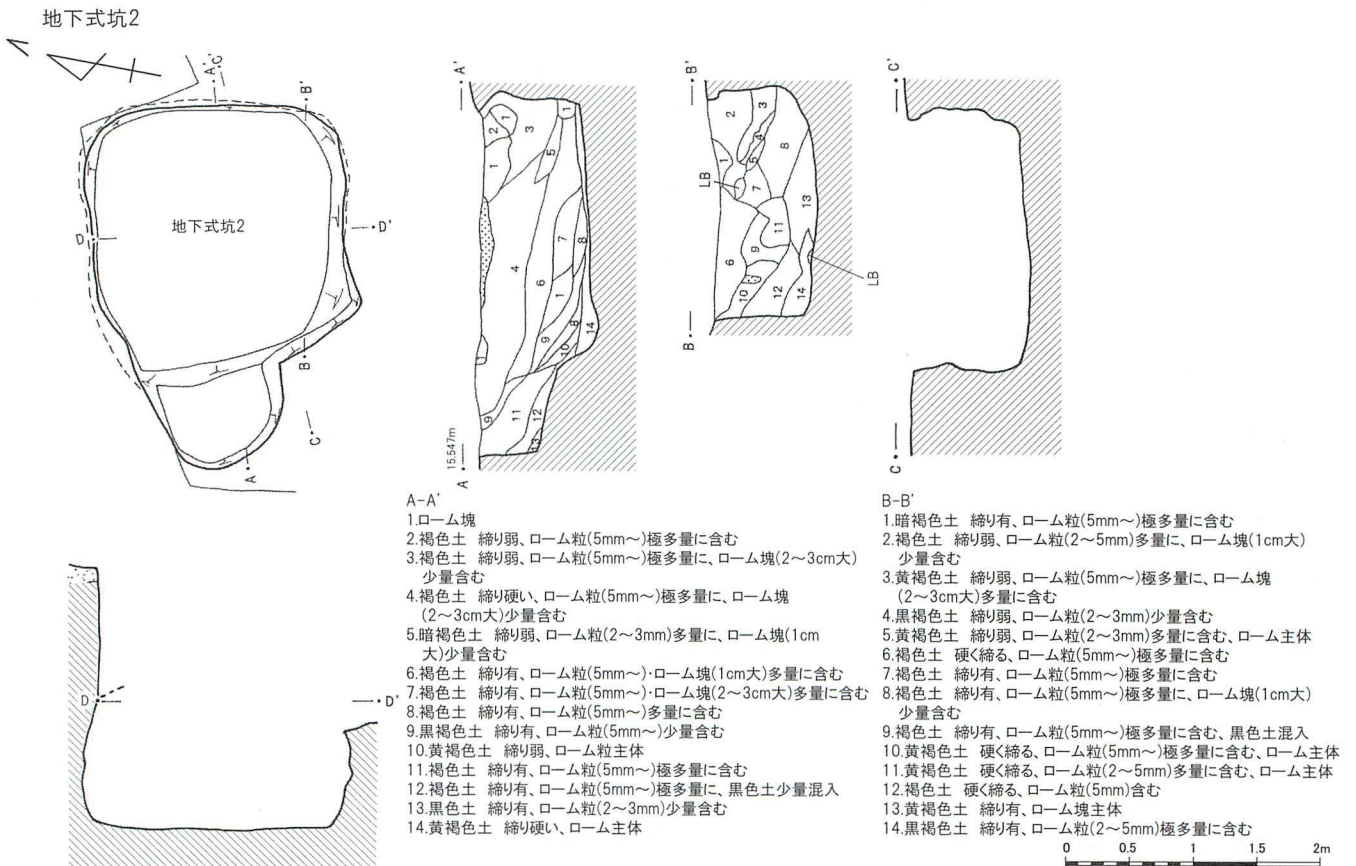


第33図 本村遺跡第119地点調査区域図 (1/300)

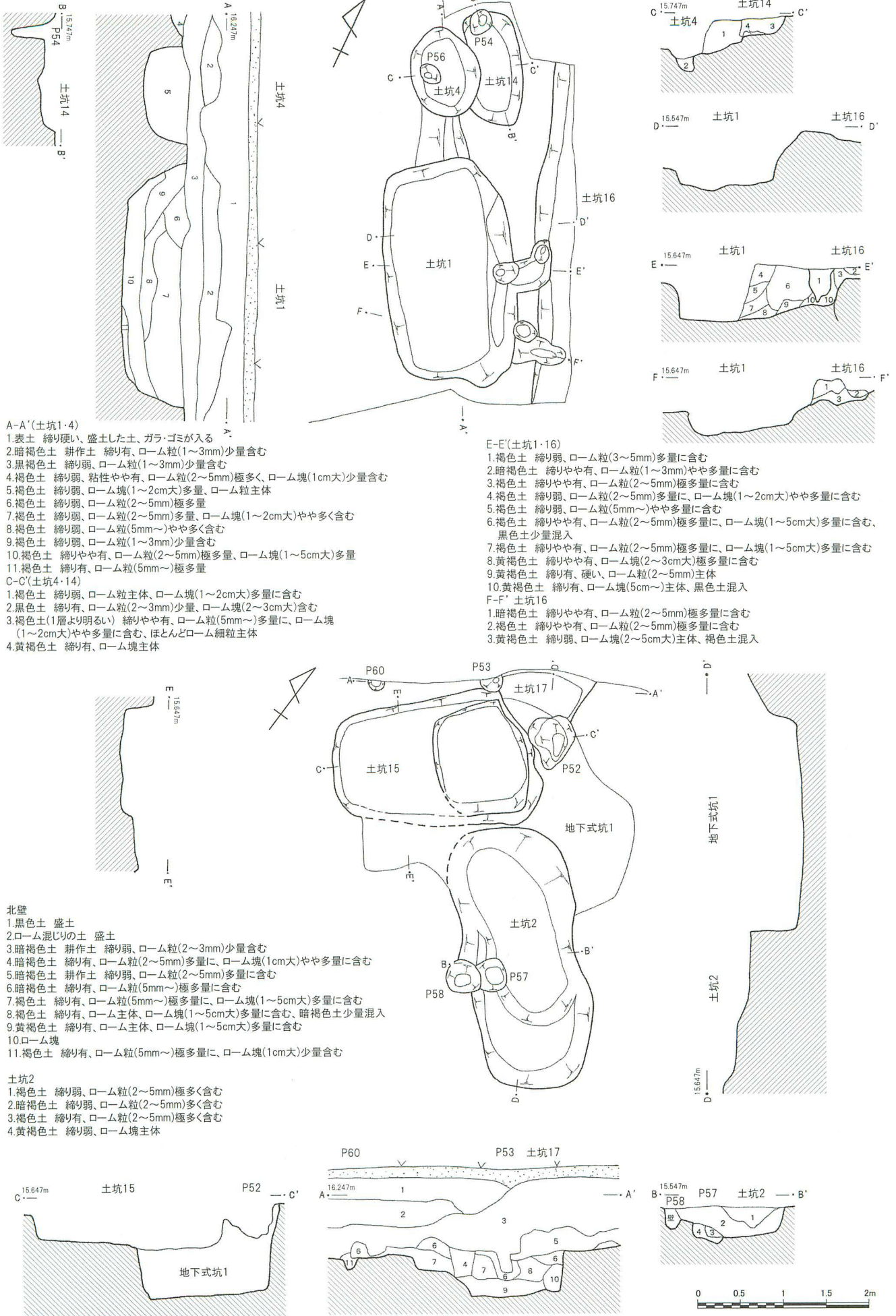
地下式坑1



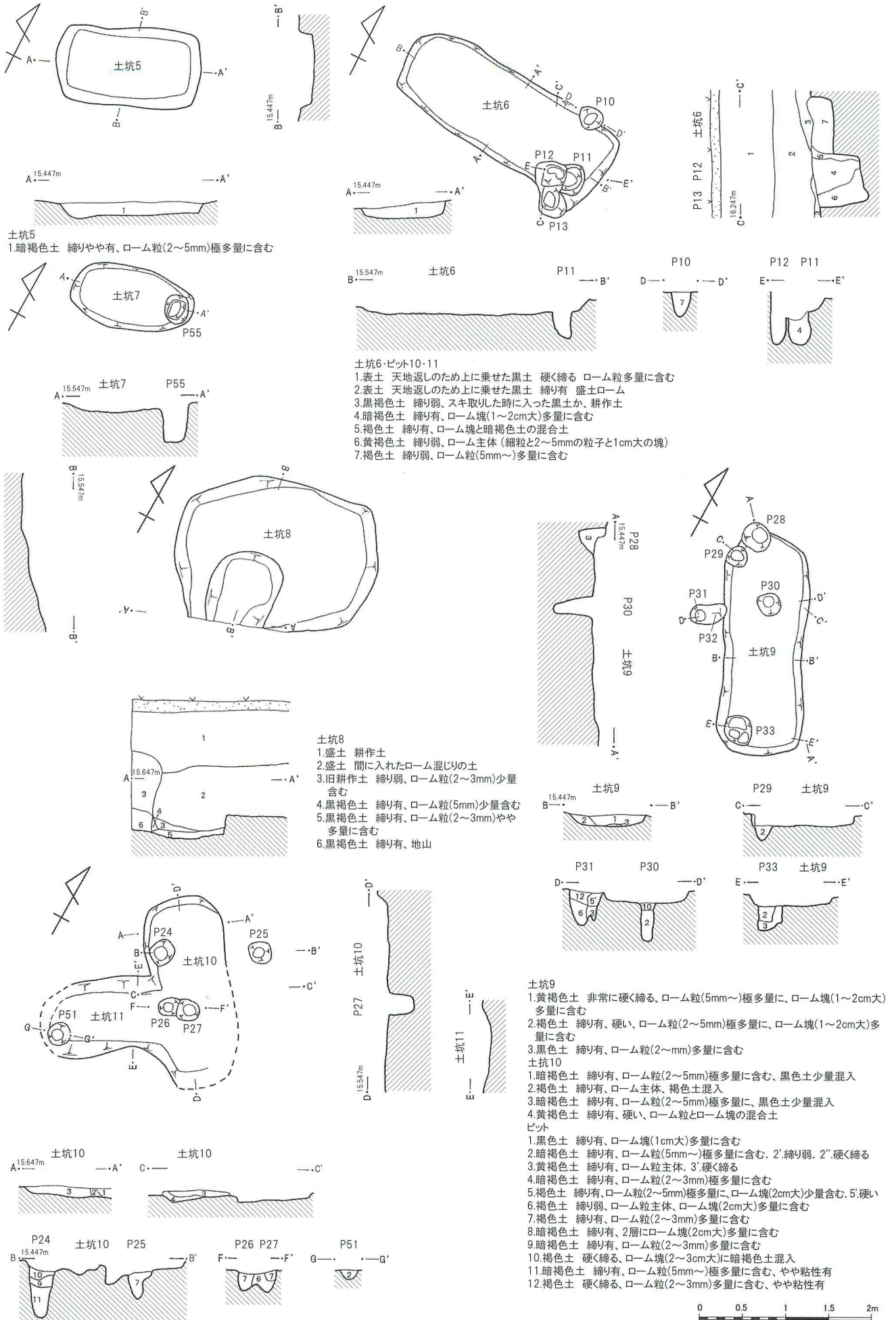
地下式坑2



第34図 本村遺跡第119地点地下式坑1・2、土坑2・15・17、ピット57・58・60(1/60)



第35図 本村遺跡第119地点土坑1・3・4・14~16、ピット52~54・56(1/60)



第36図 本村遺跡第119地点土坑5~11、ピット10~13・24~33・51・55(1/60)



第37図 本村遺跡第119地点ピット1~9・14~23・34~50・59(1/60)

(2) 土坑

15基の土坑を検出した。土坑12・13は地下式坑1に変更したため欠番とする。調査区の北東部に集中する。平面形は長方形が多い。長軸方向は地下式坑と

ほぼ同一か直交する。土坑1からは瓦質の鉢とカワラケ片が、土坑8からはカワラケ片が出土した。

(3) ピット

60基検出した。P4からはカワラケ片が出土した。

第16表 本村遺跡第119地点遺構一覧表

(単位cm)

No.	平面形態	確認面	底面	高さ	備考
地下式坑1 室部 竪坑		314 × 272		120	横長方形の右奥に幅136×奥行40cmの張り出しがつく。L字形。土坑2・15より旧。 竪坑直下の床面の窪み
	L字形	272 × 234	250 × 200	高さ75	
	方形	84 × 84	70 × 70	109	
	楕円形	72 × 62	37 × 32	床から9	
地下式坑2 室部 タテ坑		290 × 202		高さ78	茶白出土
	方形	224 × 202	202 × 182	109	
	半円形	83 × 104	62 × 83	72	
土坑1	長方形	253 × 133	227 × 112	65	瓦質鉢、カワラケ片出土
土坑2	楕円形(大)	305 × 135	226 × 90	42	新旧不明
	楕円形(小)	235 × 86	210 × 75	62	新旧不明
土坑3	方形	115 × 108	108 × 95	61	土坑15との新旧不明。地下式坑1より新。
土坑4	楕円形	109 × 80	87 × 50	39	P56より新。土坑14より旧。
土坑5	長方形	167 × 94	142 × 70	60	
土坑6	長方形	269 × 100	248 × 87	29	
土坑7	楕円形	140 × 76	126 × 63	14	
土坑8	不明	235 × (176)	209 × (166)	20	カワラケ片出土
土坑9	隅丸方形	257 × 95	245 × 77	18	
土坑10	不明	(209) × 92	(190) × 75	16	
土坑11	不明	(225) × 88	(212) × 56	9	
土坑12					欠番
土坑13					欠番
土坑14	楕円形	128 × 57	95 × 41	18	土坑4より新
土坑15	長方形	245 × 160	227 × 132	37	土坑3との新旧不明。地下式坑1より新。
土坑16	不明	(400) × (50)	— × —	14	
土坑17	不明	120 × (60)	115 × (55)	55	
P1	方形	23 × 21	12 × 12	24	
P2	隅丸方形	35 × 32	7 × 7	31	
P3	隅丸長方形	33 × 24	9 × 6	42	
P4	不整形	50 × 38	20 × 5	55	カワラケ片出土
P5	隅丸方形	21 × 21	16 × 15	15	
P6	方形	26 × (20)	5 × 5	56	P7より旧
P7	方形	24 × (23)	8 × 5	48	P6より新
P8	円形	33 × 32	12 × 11	41	
P9	隅丸長方形	22 × 14	5 × 4	39	
P10	円形	30 × 27	13 × 10	28	
P11	(方形)	36 × (21)	15 × 14	30	土層図より
P12	(楕円形)	(29) × 28	20 × 12		

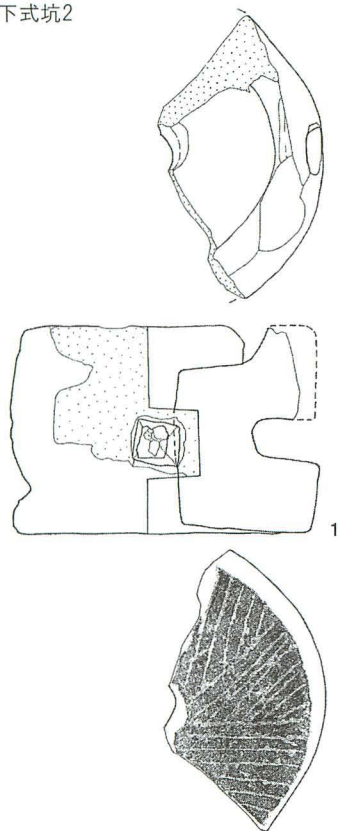
No.	平面形態	確認面	底面	高さ	備考
P13	(隅丸方形)	(37) × 31	21 × 15	?	
P14	隅丸方形	30 × 28	12 × 6	45	
P15	方形	18 × 15	9 × 7	11	
P16	方形	27 × 27	6 × 6	76	
P17	隅丸方形	25 × 21	12 × 11	39	
P18	方形	32 × 25	15 × 15	51	
P19	方形	21 × 20	10 × 10	18	
P20	方形	30 × 25	12 × 10	43	
P21	隅丸方形	28 × 26	15 × 13	59	
P22	方形	21 × 20	12 × 12	20	
P23	隅丸方形	21 × 21	10 × 10	24	
P24	方形	28 × 26	14 × 14	63	
P25	方形	25 × 25	12 × 12	40	
P26	(円形)	(23) × 20	11 × 10	27	
P27	隅丸方形	24 × 24	14 × 12	30	
P28	方形	32 × 31	17 × 15	33	
P29	円形	24 × 21	14 × 12	31	
P30	方形	25 × 24	12 × 11	59	
P31	不明	? × 23	13 × 11	47	
P32	不明	? × 21	— × —	37	
P33	方形	33 × 32	12 × 9	41	
P34	円形	27 × 23	14 × 13	29	
P35	方形	23 × 22	11 × 4	15	
P36	方形	25 × 24	11 × 10	74	
P37	方形	22 × 22	9 × 7	23	
P38	隅丸方形	23 × 20	13 × 11	22	
P39	方形	28 × 26	20 × 18	46	
P40	方形	27 × 20	14 × 6	24	
P41	長方形	40 × 30	19 × 17	17	
P42	方形	28 × 25	15 × 14	21	
P43	隅丸方形	30 × 29	17 × 13	20	
P44	方形	28 × 25	15 × 13	49	
P45	隅丸方形	38 × 32	10 × 9	57	
P46	円形	17 × 16	9 × 8	11	
P47	円形	21 × 18	10 × 8	11	
P48	楕円形	35 × 22	6 × 5	16	
P49	(方形)	25 × (24)	6 × 5	24	P50より旧
P50	(隅丸方形)	(25) × 23	16 × 10	12	P49より新
P51	円形	26 × 25	13 × 13	13	
P52	不整形	73 × 57	— × —	36	
P53	不整形	26 × (16)	6 × 6	35	
P54	方形	26 × 25	10 × 9	52	
P55	隅丸方形	34 × 25	18 × 10	47	
P56	方形	22 × 21	9 × 6	23	
P57	(円形)	39 × (31)	22 × 19	33	
P58	円形	40 × 38	17 × 15	38	
P59	円形	15 × 14	5 × 3	22	
P60	不整形	15 × (11)	11 × (6)	15	

第17表 本村遺跡第119地点出土遺物観察表

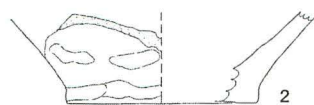
(単位cm・g)

掲載番号	遺構名	出土状況	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	遺存部位	技法 / 文様 / その他	推定年代・時期	備考 / 推定生産地
1	2号地下式坑	覆土	石製品・茶磨(茶臼)・上臼	(15.2)	(15.0)	11.0	1/3以下残存	敲打/8分画8本溝、溝間隔0.7cm、受皿深2.1cm。供給口有り。挽手穴は方形、縦2.3cm、幅2.4cm、奥行3.2cm。ふくみ厚0.4cm。/側面は胴が張る。	中世	砂岩(緻密)
2	土坑1	覆土	瓦質土器・鉢	—	(10.0)	—	底部破片	紐作り成形、体部指頭圧痕。内面横撫で。/内面磨耗/雲母、石英、砂粒多量含む。	14世紀後半~15世紀	在地
3	土坑8	覆土	土器・カワラケ	—	(6.0)	—	底部破片	ロクロ成形、回転糸切り(右)/赤色粒子多量含む。	中世	在地
4	遺構外		銭貨・銅貨	2.46	穿径0.67	0.12	一部欠	重2.17g/鑄造/模鑄銭か	中世	
5	遺構外		銅製品・煙管・雁首	2.2	2.0	0.2	火皿	重3.55g/火皿を潰した、いわゆる雁首銭	近世	

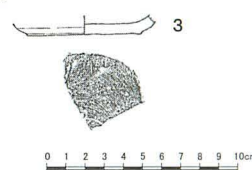
地下式坑2



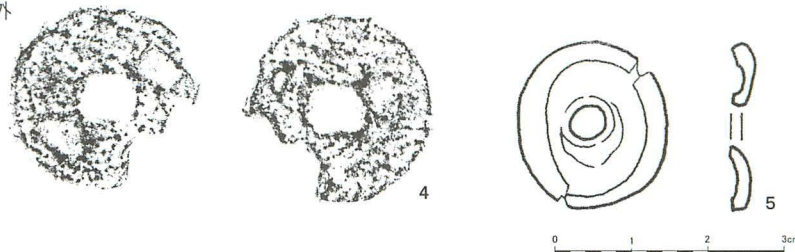
土坑1



土坑8



遺構外



第38図 本村遺跡第119地点出土遺物(1/4・1/1)

参考文献

家田淳一 2000 「肥前の製品について—陶器の編年—2. 播鉢・鉢・片口・水指・茶入・土瓶・水注・灯火具」

『九州陶磁の編年』九州近世陶磁学会編

谷口榮 2009 「地下式坑の研究史」『中世の地下室』東国中世考古学研究会編

成瀬晃司 1996 「江戸遺跡出土磁器碗・皿の変遷—文様、銘款を中心に—」『江戸出土陶磁器・土器の諸問題Ⅱ』

江戸陶磁土器研究グループ編

藤澤良祐 1987 「本業焼きの研究」『研究紀要Ⅵ』瀬戸市歴史民俗資料館

山本典幸 2008 「五領ヶ台式土器」『総覧 縄文土器』小林達夫編

引用文献

堀口萬基地吉 1980 「埼玉県の地形と地質」『新編 埼玉県史 別冊3 自然』埼玉県、「第5図 埼玉平野の地形区分図」



本村遺跡第 119 地点全景



本村遺跡第 119 地点地下式坑 1



本村遺跡第 119 地点地下式坑 1 豎坑



本村遺跡第 119 地点地下式坑 1・2



本村遺跡第 119 地点地下式坑 2



本村遺跡第 119 地点地下式坑 2 遺物出土狀況



本村遺跡第 119 地点地下式坑 2 豎坑



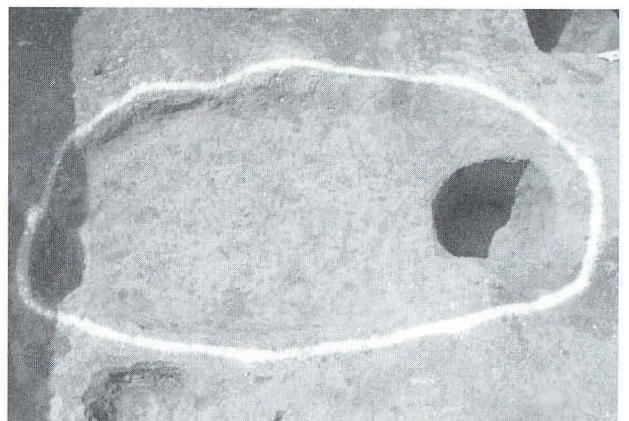
本村遺跡第 119 地点土坑 1



本村遺跡第 119 地点土坑 2



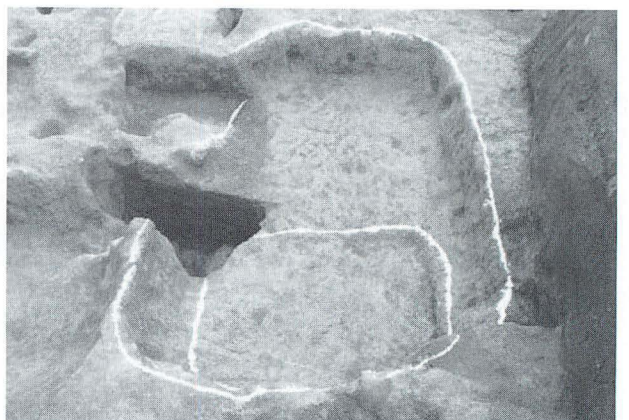
本村遺跡 119 地点土坑 5



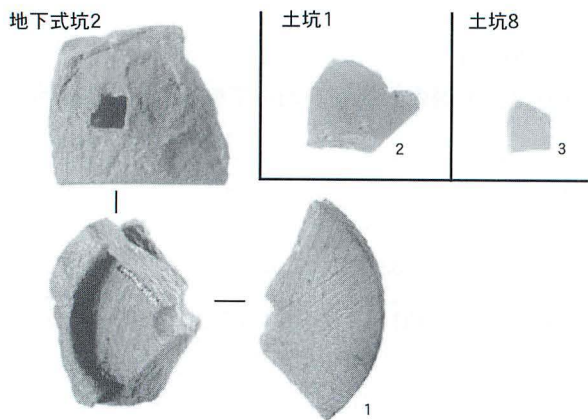
本村遺跡第 119 地点土坑 7



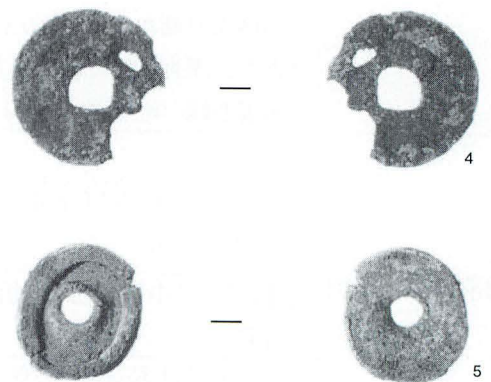
本村遺跡第 119 地点土坑 10・11



本村遺跡第 119 地点土坑 15



本村遺跡第 119 地点出土遺物 No.1 ~ 3



本村遺跡第 119 地点土坑 10 出土遺物 No.4・5

報告書抄録

書名	市内遺跡群 5	シリーズ名	ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 6 集			
編集者	高崎直成	著者	高崎直成			
編集機関	ふじみ野市教育委員会	所在地	〒 356-8555 ふじみ野市大井中央一丁目 1 番 1 号 TEL 049 (220) 2088			
発行日	2011 年 (平成 23 年) 3 月 18 日					
所収遺跡地点名	所在地	市町村コード	北緯	調査開始	調査面積	調査原因
		遺跡コード	東経	調査終了	m ²	調査担当者
	種別 // 主な時代・主な遺構・主な遺物 特記事項					
つるがおかそと 鶴ヶ岡外遺跡 第 5 地点	さいたまけんふじみのしつるがおか 埼玉県ふじみ野市鶴ヶ岡	112453	35° 51' 55"	20080220	400	共同住宅建設
	5-188-1, 741-1, 198-1, 199-1, 214-1	30-048	139° 29' 44"	20080307		越村篤
	集落跡 // 旧石器時代・石器集中 3 カ所・旧石器時代ナイフ、削器、台石 本遺跡では最も石器の集中した石器群を検出した。立川ローム第IV層上部に集中する。					
こまばやし 駒林遺跡第 5 地点	さいたまけんふじみのしこまばやしんでんまえ 埼玉県ふじみ野市駒林新田前	112453	35° 52' 00"	20080530	509	分譲住宅建設
	256	25-013	139° 31' 42"	20080628		越村篤
	集落跡 // 縄文時代・集石土坑 3 基・縄文土器 / 中近世・地下式坑 1 基、竪穴土坑 25 基、溝 4 条、 柵列、ピット・土釜、瓦質鍋、瓦質鉢、銭貨、陶磁器 縄文時代の集石土坑は本遺跡で初検出。周辺で縄文時代の遺構分布を検討していく必要がある。 また、調査地は地藏堂墓地 (西の寮) の南側に位置し、地下式坑や竪穴土坑との関係を検討する 必要がある。墓地との境界に位置する溝も、調査地点の西側で 250m 近く検出した大溝と 一直線上にあり、同一遺構の可能性はある。					
しんめいうしろ 神明後遺跡 第 34 地点	さいたまけんふじみのしなえましんめいうしろ 埼玉県ふじみ野市苗間神明後	112453	35° 51' 36"	20080516	357	分譲住宅建設
	283-1, 284-1 の一部	30-041	139° 31' 38"	20080528		高崎直成
	集落跡 // 縄文時代・中期住居跡 1 軒、落とし穴 1 基、集石土坑 3 基、ピット・加曾利 E Ⅲ期 土器、石鏃、打製石斧 / 中～近世・溝、溝状遺構・近世陶磁器 本遺跡における縄文時代中期の住居分布は本地点より 100 m 東側にあり、住居跡は分布中 心域より離れる。本地点周辺の縄文時代遺構は集石等が多く、中期住居跡の検出は少ない。 また、調査区南で検出した南北方向の溝 6 は、本調査区東側の地点で検出した中世屋敷の区 画溝西端の可能性はある。					
ほむら 本村遺跡第 119 地点	さいたまけんふじみのしいちさわ 埼玉県ふじみ野市市沢 3 丁目	112453	35° 51' 12"	20080604	254	共同住宅建設
	4-24 の一部	30-034	139° 31' 33"	20080619		高崎直成
	集落跡 // 中世・地下式坑 2 基、土坑 15 基、ピット 60 基・茶臼、瓦質鉢、カワラケ、銭貨、 煙管 地下式坑は本調査区北側の 104 地点でも 2 基検出しており、地下式坑と土坑群の分布と配置 を検討していく必要がある。					

第15章 本村遺跡の調査

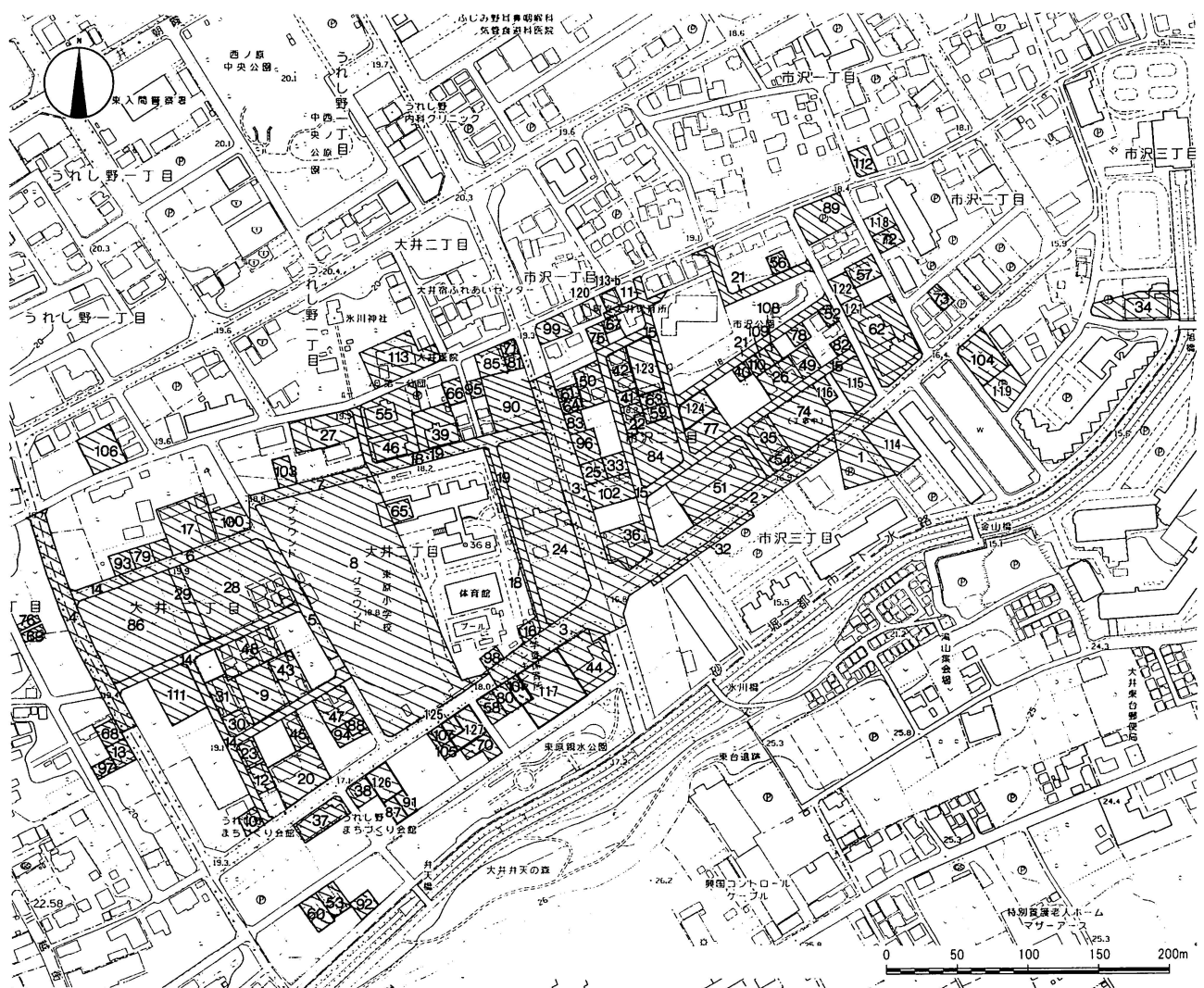
I 遺跡の立地と環境

本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15～20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。市内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることが出来る。いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2011年3月現在127地点で調査を行ない、旧石器時代の礫群・石器集中、縄文時代の落とし穴・炉穴、中世～近世の掘建柱建物・方形竅穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式墳・茶毘跡等を多数検出している。



第109図 本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)



第110図 本村遺跡遺構分布図 (1/3,000)

Ⅱ 本村遺跡第 119 地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より 2008 年 3 月 24 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南東端に立地し、隣接地では集石や地下式坑、溝等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 5 月 27 日から同年 6 月 4 日まで行なった。幅約 2 m のトレンチを 5 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、暗褐色土の遺構プラン多数を確認したため、遺構の性格を確認するため一部調査したところ、土坑や地下式坑であった。遺構確認面まで 150 cm あるが、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

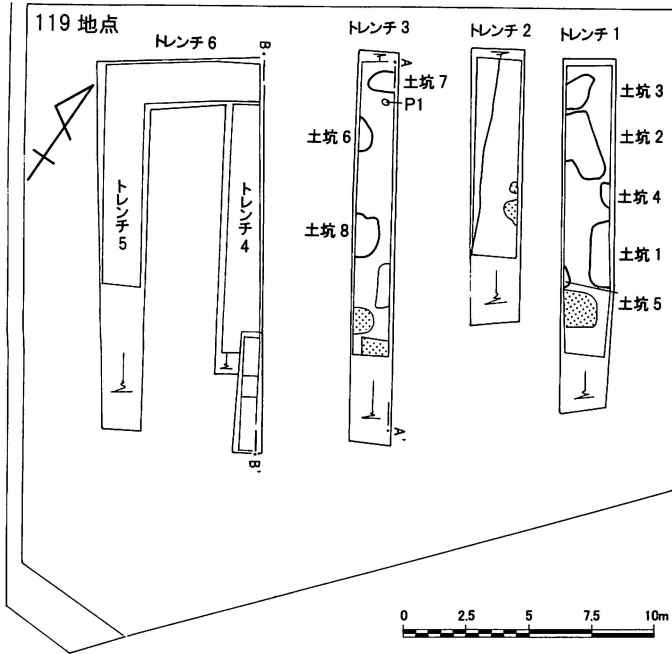
本調査は原因者と発掘調査に係わる委託契約を締結した上で 2008 年 6 月 4 日から同年 6 月 19 日まで、ふじみ野市教育委員会が行ない、中世以降の地下式坑 2 基、土坑 14 基、ピット 58 基を検出した。

(市内遺跡群 5「本村遺跡第 119 地点の本調査」参照)

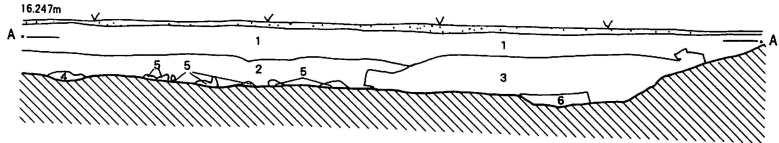
Ⅲ 本村遺跡第 120 地点

調査は分譲住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 12 月 12 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央北側に立地し、隣接地では旧石器時代の石器群等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 12 月 18 日に幅約 1.5 m のトレンチを 1 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、暗褐色土の遺構プラン多数を確認したため、遺構の性格を確認するため一部調査したところ、溝状遺構（イモビツ）や柱穴であった。確認面まで 105cm を測る。建築による遺構への影響がないため工事立会いと、写真撮影・平板測量による全測図・遺構図面作成等記録保存を行ない、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



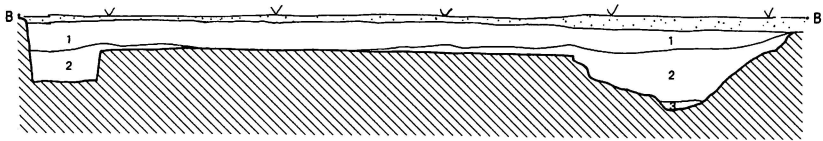
トレンチ 3



トレンチ 3

- 1. 黒色土 盛土 硬く締る、ローム粒多量に含む、天地返し
- 2. 黒色土 盛土 締り有、天地返し
- 3. 盛土 ローム 天地返し
- 4. 褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)、ローム塊(1cm大)多量に含む、土坑の土、やや新しい
- 5. ローム地山 ハードローム
- 6. 茶褐色土 盛土 締り有、天地返し

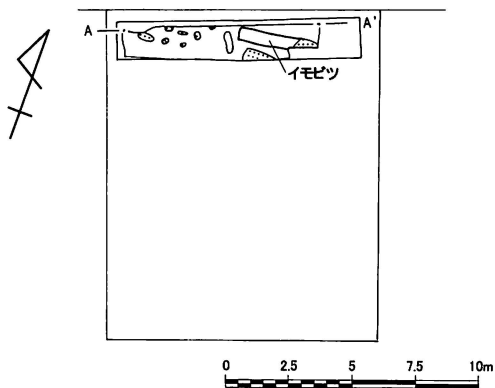
トレンチ 4



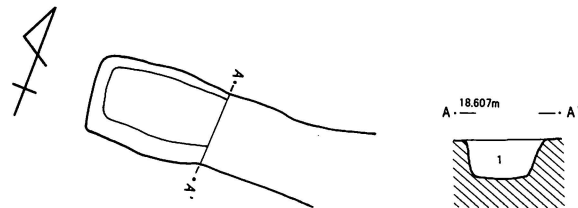
トレンチ 4

- 1. 黒褐色土 盛土 締り有、硬い、天地返し
- 2. 黄褐色土 盛土 締り有、硬い、ローム、天地返し

120 地点



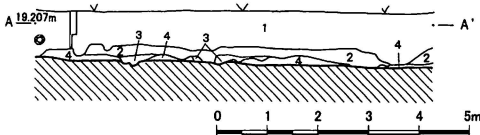
イモビツ



- 1. 盛土 ローム、ガラ主体
- 2. 耕作土(元表土) 暗褐色土 締り有、ローム粒(1~2mm)少量、炭極少量
- 3. 黒褐色土 締り弱、ローム粒(2~5mm)多量、茶褐色土(地山)塊少量、耕作の跡
- 4. 地山 締り有、茶褐色ローム

イモビツ

- 1. 黒褐色土 締り弱、ローム塊(10~50mm大)多量



第111図 本村遺跡第119・120地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、溝状遺構(1/60)

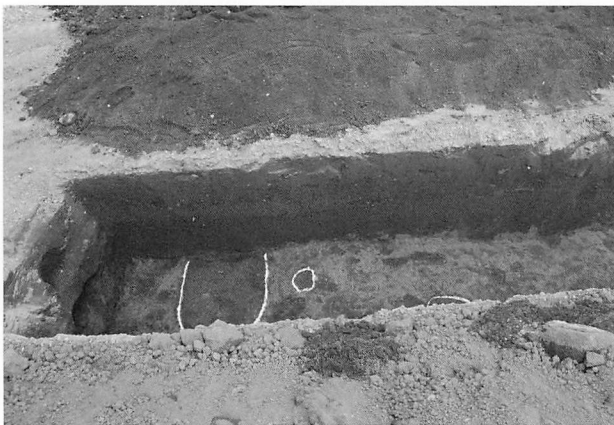
小田久保遺跡第 7 地点、本村遺跡第 119・120 地点、東台遺跡第 50 地点



小田久保遺跡第 7 地点全景



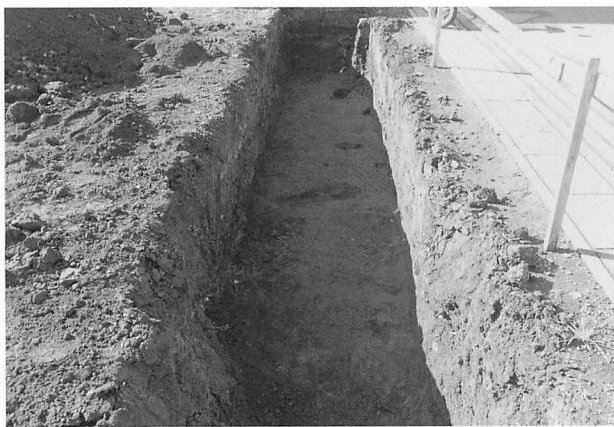
小田久保遺跡第 7 地点調査風景



本村遺跡第 119 地点トレンチ 3



本村遺跡第 119 地点調査風景



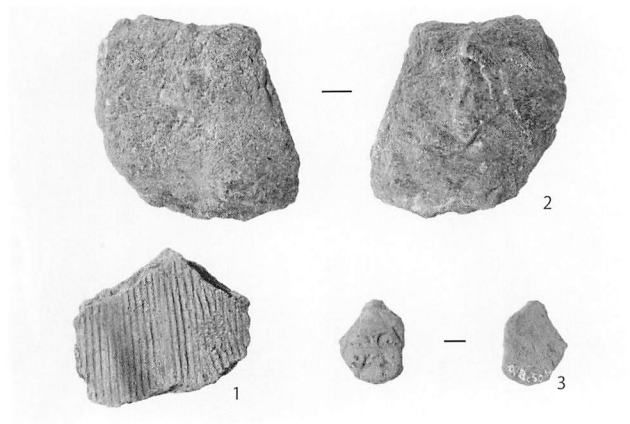
本村遺跡第 120 地点



本村遺跡第 120 地点調査風景



東台遺跡第 50 地点全景



東台遺跡第 50 地点出土遺物 No.1 ~ 3